

中小企業タイムズ

Small and Medium Enterprises Times 山梨県中小企業団体中央会機関誌

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

●第2次補正予算案が閣議決定 …… 2面
●組合ではこんなことをしています …… 4・5面
●学生が企業訪問しました …… 8面

10 October
2016年
第719/294号
(毎月1日発行)

9月の出来事
●時事
9日 北朝鮮による5回目の核実験実施
10日 広島が25年ぶりのリーグ制覇(プロ野球)
13日 来春高卒求人、23年ぶり高水準1.75倍
13日 2015年度医療費、初めて40兆円突破
16日 台風7、9、10、11号被害を激甚災害に指定
●山梨県中央会ニュース
8日 中央会女性部会総会
9日 青年中央会代表者会議
14日 中小企業組合まつり実行委員会
14日 静岡県・山梨県中央会事務局連絡協議会
26日 正副会長会議
27日 全国大会特別委員会
10月の予定
5日 正副会長会議
5日 富士東部地域組合交流会・役員交流会
7日 女性のための合同就職説明会Woman's Messe
18日 組合青年部県大会
19日 第68回中小企業団体全国大会(石川県)
29日 第47回中小企業団体親睦ゴルフコンペ

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

中小企業団体全国大会に向けて14テーマ51項目の 議決案が決定

全国中央会特別委員会で 都道府県中央会の代表者が審議

10月19日に石川県金沢市で開催される第68回中小企業団体全国大会で行われる大会決議の原案が、9月27日に全国中小企業団体中央会において、各都道府県中央会の代表者と全国組合の理事長等で組織される全国大会特別委員会(委員長:大村功作全国中央会会長 委員:都道府県中央会会長)で採択された。



委員長を務めた全国中央会大村会長と全国中央会副会長

今年度の決議案は、個人消費や国内投資が力強さを欠く中、「地域の雇用を支える中小・小規模事業者が連携・組織化を通じての自立と稼ぐ力の強化、組合等連携組織による中小・小規模事業者の生産性向上の底上げ実現のために、事業分野別の経営力向上などの支援活動を多面的に展開していく



全国大会特別委員会の様子

必要がある」として、「実感ある景気回復と中小企業の経営力の強化」と「地域を支える中小企業の生産性の向上」の2本の柱で、総合政策ほか5分野の14テーマ51項目が決定された。
決議案のもととなる各要望事項については、各都道府県中央会に設置された委員会等で検討審議された後、全国6ブロックの中央会会長会議で集約され、8月31日から9月7日に開催された全国中小企業団体中央会の6つの専門委員会(総合政策・金融・税制・商業・工業・労働)を経て、27日の特別委員会で審議され決定された。
決議案は、10月19日の中小企業団体全国大会で採択された後、政府与党をはじめとした関係各方面に対して実現に向けての陳情・要請活動を行うこととなる。

I. 実感ある景気回復と中小企業の経営力の強化 総合-1 国内需要の喚起と中小企業の経営力の強化 - 国内需要を喚起する果敢な景気対策 - 地方創生交付金等の拡充と恒久化 - 国内観光産業の一層強化、地域ブランドの育成 - 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた受注拡大 - 早期の創業、事業承継の準備支援 総合-2 組合制度等の充実、中央会支援体制の強化 - 中小企業の組織に関する制度の見直し - 経営力強化を推進する組合等への予算の拡充 - 中小企業連携組織対策推進事業の拡充 - 組合事務局、中央会指導員等の人材育成支援 総合-3 TPP、海外展開の強化 - TPP協定の早期発効と国内対策の強化 - 海外市場に向けた販売開拓強化 総合-4 公正な競争環境の整備 - 公正な競争環境のための独禁法等執行強化 - 独禁法の審査における適正手続きの確保 総合-5 官公需対策の強化 - 中小企業と官公需適格組合への受注機会の拡大 総合-6 熊本地震・東日本大震災等からの復興の加速化 - 十分かつ柔軟な財政措置の継続 - 組合等災害復旧事業(グループ補助金)の確保 - 地域の防災・減災対策の強化	II. 地域を支える中小企業の生産性の向上 金融 資金繰り対策の拡充 - 設備投資等の促進と円滑な資金繰りの継続 - 商工中金等政府系金融の役割・機能の強化 - 信用組合への支援強化 - 信用補完制度の充実 税制 中小企業税制の拡充 - 投資促進税制におけるロボット等の対象設備拡充 - 所得拡大促進税制の拡充 - 組合を含む中小法人税の軽減税率の延長 - 研究開発税制の延長・強化 - 外形標準課税の適用拡大絶対反対 - 事業承継促進のための税制の拡充 - 消費税対策の継続・強化 商業-1 商業・サービス業の生産性向上等 - 商業・サービス業のIT等による生産性向上 - 生産性向上を図る人事育成 - 物流対策の強化 商業-2 まちづくり・商業集積の強化等 - 機能的なまちづくりの推進、中心市街地の再生支援 - 商店街・共同店舗等の商業集積に対するハード・ソフト支援の拡充	- 商取引の適正化 工業 中小製造業等の持続的発展 - ものづくり補助金の継続及びフォローアップ強化 - 技術開発支援の拡充 - ものづくり人材の育成・確保 - IoTに取り組む中小企業支援強化 - 下請等取引の改善 - 知的財産の保護と活用支援の強化 - 電力等エネルギーの安定安価供給 - 省エネ支援の拡充 労働-1 実態を踏まえた労働・雇用対策の推進 - 同一労働・同一賃金の議論の慎重な検討 - 地域の中小企業の実情を踏まえた最低賃金の設定 - 雇用保険制度の見直し - 中小企業の人材確保・定着支援の強化 - ワーク・ライフ・バランスの推進 労働-2 職業能力開発の推進 - 国による職業訓練機能の充実・強化 - 外国人技能実習制度の適正な見直し・改善 労働-3 社会保障制度の見直し - 健康保険料の安易な引上げ反対と協会けんぽ等の財政安定のための支援
---	---	---

平成28年度第2次補正予算案が閣議決定

今回の補正予算のポイントは“未来への投資”です！

8月24日、政府は「平成28年度第2次補正予算(政府案)」を閣議決定しました。これは、8月に閣議決定した「未来への投資を実現する経済対策」を実行するためのもので、今後、国会での決議を経て補正予算の成立となります。

補助金の活用をご検討されている方は、今から補正予算案の内容を確認しておきましょう。そして、それに基づく事業計画の作成に取りかかりましょう。補助金活用のポイントは「早めの準備」です。いまから準備をしておきましょう。

「未来への投資を実現する経済対策」

国が決定する予算には、必ずテーマがあります。このテーマを実行するために、予算が構成されるのです。いわば、今後国がどのような内容に力を入れていくのかが示されています。

そして、今回の補正予算のテーマは「未来への投資を実現する経済対策」です。未来の産業を作り上げていくために、民間からの未来投資を後押しするものです。ポイントは、「①中小企業、②資源開発、③第4次産業革命」の3分野となっています。

中小企業の新商品・新サービスの開発

中小企業が、ITシステムやロボットを活用して、新商品や新サービスを開発する場合、国がものづくりやサービスの開発費の一部を補助する「地域未来投資促進事業」として1,001億円を計上しています。また、個人商店などの小規模事業者が観光客を呼び込むためのマーケティング費など、新たな販路開拓を補助する「持続化補助金」も120億円を計上しています。

- 地域未来投資促進事業1,001.3億円
- 小規模事業者販路開拓支援事業(小規模事業者持続化補助金) 120億円

資源開発へのファイナンス

日本企業による資源開発をファイナンスで支援している石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)も1,628億円の資本強化を行います。今年のG7でも、世界的な原油安のなか、資源開発が停滞するおそれが指摘されました。今回の補正予算を用いて、安定的な資源開発を進める予定です。

- 資源価格安定化・産業競争力強化のための上流開発投資支援 1,500億円
 - 資源開発促進のためのリスクマネー供給等の拡大 128億円
- 第4次産業革命：AI研究拠点**
- 次世代の産業に必要な基幹技術を、大学や企業と共同で研究している「産業技術総合研究所」。今回の補正予算では、195億円をかけて、この産業技術総合研究所に、大学や企業も参画するオープンでグローバルなAI研究拠点を作り上げます。
- 人工知能に関するグローバル研究拠点整備事業 195億円
 - ロボット導入促進のためのシステムインテグレーション育成事業 14億円
 - IoTを活用した新ビジネス創出推進事業 9億円

今回、掲載した内容は補正予算の主要部分のみです。他にも、様々な補正予算が用意されています。まずは、下記サイトをご確認いただき、内容を確認してみましょう。

- 平成28年度第2次補正予算案の概要について(経済産業省)**
- http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2016/pdf/h28_2hosyu_yosan_gaiyo.pdf
- 平成28年度第2次補正予算案の概要(PR資料)(経済産業省)**
- http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2016/pdf/h28_2hosyu_yosan_pr.pdf

情報BOX

山梨労働局からのお知らせ

平成28年10月1日から、**山梨県最低賃金**が改正されました。

改正後の金額は、**1時間 759円**です。

詳しくは、
山梨労働局賃金室(☎055-225-2854)
もしくは最寄りの労働基準監督署まで
お尋ねください。

発酵で健康！

今、発酵の力が見直されています。発酵とは、微生物等の繁殖が繰り返され、もともとの食材の成分を変化させることを言います。生鮮食料品を保存食に加工するためだけでなく、風味を良くしたり食品を柔らかくするといった目的で発酵の力が使われてきました。

大腸菌、ブドウ球菌などの「悪玉菌」による発酵が進むと食品は腐敗し、人間の体に重大な害を及ぼしますが、発酵食品は、ビフィズス菌、納豆菌、酵母菌などの「善玉菌」により食材を発酵させるものであり、我が国には、納豆、醤油、味噌、漬物、鯉節のように発酵を使った伝統的な食品がたくさんあります。

発酵のすごいところは、①食べ物を美味しくする、②保存性を高める、③栄養価が高くなるなどの作用があるということです。すなわち、発酵食品を食べることは食文化を豊かにし、人々の健康や幸せにもつながります。

山梨県では、農業の6次産業化の支援の一環として平成23年から発酵学の権威でもある小泉武夫(東京農業大学名誉教授)氏を加工品開発のアドバイザーに迎え、本県の秀逸な農産物を原料とした発酵食品など100を超える商品開発や販路開拓を後押ししてきました。

11月12～13日には甲府駅の北口広場を中心に、全国の発酵食品が一堂に会する「全国発酵食品サミットinやまなし」が開催され、全国各地の発酵食品が集まります。この機会に発酵食品の奥深さや美味しさを知り、発酵食品を食べることで豊かな食生活と健康なからだ作りの一助にしてください。

「健康寿命日本一」山梨県を続けるために、この機会に発酵生活を始めましょう。



▶データから見た

業界の動き

平成28年

8月分

●情報連絡員からの景況報告の概要

平成28年8月の山梨県内の全業種のDI値(前年同月)は、売上高マイナス8ポイント、収益状況マイナス12ポイント、景況感マイナス22ポイントと悪化した。前月比では収益状況は改善の兆しだが、景況感がマイナス10ポイントと急激に悪化した。製造業は前月比の売上高は改善、収益状況、景況感5ポイント改善した。非製造業は前月比売上高は3ポイント改善したが、収益状況は5ポイント悪化、景況感マイナス20ポイントと大幅に悪化している。中国をはじめとする海外経済の先行きに対する懸念が深まり年初から半年で15円以上上昇した円高と株価の低迷が続いている。

製造業では、収益、景況感の小幅な改善は見込めるが原材料の値上がりや受注の停滞、輸出の不調により先行きを懸念する報告が寄せられた。

非製造業では、これまで追い風だった中国人観光客の減少、中国人バイヤーによる宝飾品買い付けが高額品から低額品に移行等、円高や中国政府が低迷する国内消費を活性化するため、海外で購入した商品を国内に持ち込む際にかかる関税を、2016年4月から引き上げた影響が出始めている。

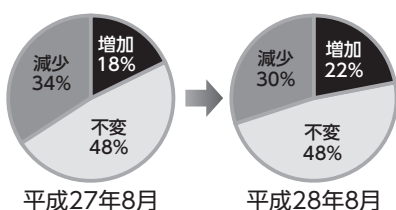
また、8月として1962年以来54年ぶりに4個上陸した台風の影響による生鮮食料品の値上がり、建設業を中心に公共工事の減少等、不安要因が増し景況感を悪化させた。

今後、地方の中小・小規模企業でも海外経済の変動の影響を受けやすくなるため、市場ニーズを取り入れた新商品開発や新たな販売チャネルの開拓、人材育成等、将来を見据えた取り組みが重要である。



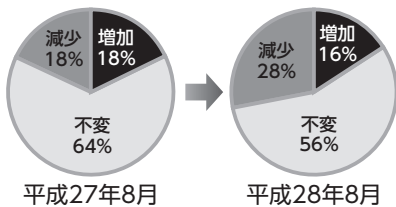
データから見た業界の動き(平成28年8月分)

▶売上高(前年同月比)



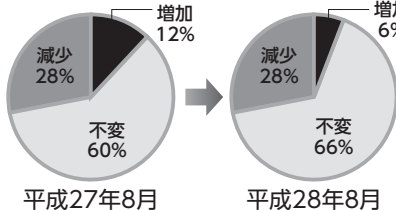
●DI値	▲8(前年同月比+8)
●業種別DI値	
製造業	▲10(前年同月比+10)
非製造業	▲7(前年同月比+6)
●前月比DI値	
製造業	不変
非製造業	3ポイント改善

▶収益状況(前年同月比)



●DI値	▲12(前年同月比▲12)
●業種別DI値	
製造業	▲15(前年同月比±0)
非製造業	▲10(前年同月比▲20)
●前月比DI値	
製造業	5ポイント改善
非製造業	3ポイント悪化

▶景況感(前年同月比)



●DI値	▲22(前年同月比▲6)
●業種別DI値	
製造業	▲15(前年同月比±0)
非製造業	▲27(前年同月比▲10)
●前月比DI値	
製造業	5ポイント改善
非製造業	20ポイント悪化

業界からの報告

■製造業

- 食料品(水産物加工)**／ギフト関係はスーパー、百貨店向けが不調。ホテル・レストラン等向けの生食材が伸長し、全体の売上は前年同月比124%だったが、原材料の値上げなどにより利益には繋がらなかった。
- 食料品(洋菓子製造)**／量販店向けOEMの焼き菓子や冷凍ケーキが好調のうえ、自社製品の輸出も回復したが、量販店、専門店向けが不調だったため全体の売上は104%。
- 食料品(製麺)**／猛暑が続く、売上は伸びなかった。
- 食料品(菓子)**／消費者からの要望などを取り入れた新商品開発によって、8月は閑散期であるにもかかわらず売上が昨年度同月比135%。
- 繊維・同製品(織物)**／裏地や傘地は低調だが、インテリア関係は高級ホテル関連の受注が順調。
- 繊維・同製品(アパレル)**／婦人服の販売チャネルが個店、量販店からネット販売にシフトしている。
- 印刷**／不景気感が強い。

- 窯業・土石(砂利)**／骨材需要は低迷。中部横断自動車道のトンネル工事が難航しており開通予定の遅れ等、不安材料が増えている。
- 窯業・土石(山採石)**／中部横断道自動車道関連の特殊製品需要により短期的に増加したが、H28年4～7月の製品出荷量は減少傾向が続いている。また、諸資材の高騰により利益は無いに等しく、設備投資が出来ない状況が続いている。
- 鉄鋼・金属①**／昨年より少し好転したものの、全体的には横ばい状態。
- 鉄鋼・金属②**／厳しい状況が続いている。
- 一般機器**／電子部品の生産、半導体製造装置は好調だが、円高で受注が停滞することもあるため先行き不透明。全体的には横ばい傾向が続いている。
- 電気機器①**／製品の製造より既存設備の改修が多く、利益率は上がっている。
- 電気機器②**／円高傾向による輸出関連の不調、国際的な政情不安などで国内の中小企業からの受注が減少。

■非製造業

- 卸売(ジュエリー)**／中国バイヤーの大量購入もなく、購入商品の価格帯も高額から中・低額商品に移行。
- 小売(青果)**／8月は台風により東北、北海道を中心に農作物に大きな被害が出ていることから、品不足による価格上昇の影響により荷動きが安定せず、今後、収益にも影響が出てくると予測。
- 小売(食肉)**／山梨県内における生産者の高齢化により年々生産量が減少しているため、県内の牛・豚肉の仕入価格が全国平均より高値。
- 小売(電機製品)**／オリンピック効果もありテレビの売上は若干上昇したが、エアコン、冷蔵庫の売上は大幅な減少となり、業界全体でも対前年同月比21%減。
- 小売(石油)**／原油価格の上昇に伴い卸売価格も若干上昇したが、小売価格に反映できず収益を圧縮。
- 宿泊業①**／中国人観光客数が減少傾向。
- 宿泊業②**／全般的に訪日外国人が減少傾向だったが、国民体育大会関東ブロック大会が本県で開催されたため高い操業度となった。
- 美容業**／お盆以降入店客数が減少したため、広告掲載やキャンペーン企画などを各店舗で行っているが、消費者マインドが冷え込んでいるため動きが見られない。
- 廃棄物処理(一廃系)**／甲府市環境衛生センタ

- 一の廃止・移転に伴い、新設される境川センターへのゴミの混載搬入を防ぐため、各自治体の収集車に色分けした「たすき」表示をするよう通達があった。自治体ごとに色分けしたタスキ表示された車両では他の自治体で使用できないため、経営悪化を招く要因となる。
- 警備業**／夏期の各種イベントや公共工事の前倒し発注等により警備量が多く、警備料金の改定により警備業界の景気は好転。しかし、警備員不足と警備員の高齢化により受注に恵られない状況が続いている。
- 建設業(総合)**／8月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ件数は3%、請負金額は44%減少。8月までの累計では、件数で3%、請負金額では5%増加。
- 建設業(型枠)**／8月に入り公共民間工事ともに多少動きが出てきたが、平年より動きが鈍い。9月以降発注はありそうだが、一昨年に比べ大幅に少なく不安を抱えている組合員企業が多い。
- 建設業(鉄構)**／会社の規模別で受注量の格差が出始めている。
- 設備工事(電気工事)**／仕事量の減少に伴い売上高も減少。東京オリンピック需要の仕事がある首都圏へ出稼している事業者が増加。
- 設備工事(管設備)**／仕事量の減少により収益が悪化。また、配管工等の職人や経営者の高齢化により技能者確保が難しい。

オピニオン opinion

伝統和紙と現代を融合させるモノづくり

弊社は400年の歴史を持つ西嶋手漉き和紙の技術を継承し、書道用画仙紙や半紙などを作り続けて120年になります。2代目「笠井成高」は技術革新に取り組み、少ない労力で均一な和紙を効率的に製造する技術を開発、「セイコー式半自動抄紙機」として昭和45年に特許を取得し、今ではその技術はアジア全域に及んでいます。

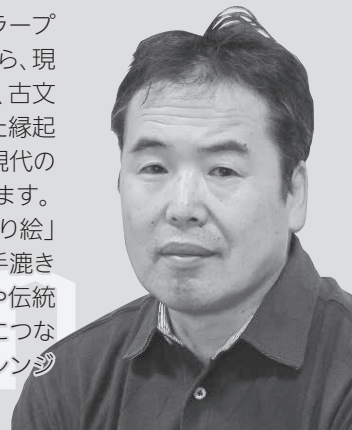
ミツマタを主原料とした西嶋手漉き和紙は光沢のある平滑な紙で、毛筆に適していることから書道家に好まれ全国的に広がりしました。しかし、書道用紙の需要が数十年前に比べて減少したことで価格の安い中国産の書道用紙が大量に輸入されるようになったため、西嶋和紙全体の生産量も減り、このままでは伝統ある西嶋の和紙が衰退してしまうと思いました。そこで、3代目の代表取締役が就任後に、需要の多いインクジェットプリンター用の和紙の開発に取り組みしました。

墨となじみの良い西嶋手漉き和紙は、にじみを抑えた美しいカラープリントが可能で、ミツマタを使ったことで色が変化しにくいことから、現代らしい和紙の使い方として高い評価を受けています。その他にも、古文書修復用紙、和紙壁紙、和紙オルゴール、紙幣の裁断屑を再利用した縁起物の団扇・扇子・カレンダーなどを、独自の技法で作りました。現代の生活に和紙を適合させるために、和紙の新しい用途に目を向けています。

現在は、動植物や名画を題材に細密な下絵が描かれた「大人の塗り絵」が世界的に流行していることから、「富嶽三十六景」を題材に西嶋手漉き和紙の特徴を生かした「塗り絵」の商品開発を行っています。歴史や伝統を守り続けながら時代に合ったモノづくりをすることで生き残りにつながると思い、伝統和紙を現代と融合させる新しいモノづくりにチャレンジしていきます。

有限会社 山十製紙 代表取締役
(西嶋和紙工業協同組合 理事長)

笠井 伸二 氏



いかなる場合にも組合・組合員の機能を止めない! 組合事業継続計画(BCP)策定の取り組み

●甲府市管工事協同組合

TOPICS

甲府市管工事協同組合(齊藤鉄也理事長 組合員52社)では、市民のライフラインを守るという重責を担っている組合員と組合の事業支援を目的に、事業継続計画(BCP)策定の講習会を組合執行部を対象に9月7日に実施した。

生活に欠かすことができない水の供給が災害により止まってしまった場合、組合と組合員は甲府市との「災害応急復旧工事等に関する業務協定」に基づき、復旧のために人材の確保、資材の供給と工事にいち早く取り組まなければならない。一方、大規模災害発生の場合には、組合員事業所でも直接的被害により業務遂行ができない可能性もあり、市民の生活インフラを最先端で支える業種として、組合と組合員が災害時の事業の復旧方法をあらかじめ決めておくことが必要であるとして、BCP策定の検討をはじめた。



事業承継・事業継続アドバイザー
佐藤雅信氏

また、今回のBCP策定は災害への対応策だけではなく、組合員が事業継続を行っていくための経営力の強化も目指しており、事業承継・事業継続アドバイザーの佐藤雅信氏により、事業継続に必要な経営資源や業務について洗い出しを行う「事業の棚卸」を中心に計画策定の具体的な手順を中心に学んだ。

齊藤理事長は「災害発生の場合、組合では組合員の協力のもとで、復旧作業に取り組むことになるが、上下水道工事は地中での作業もあるため二次被害の危険性も高い。今回の事業継続計画は、

合員事業所でも直接的被害により業務遂行ができない可能性もあり、市民の生活インフラを最先端で支える業種として、組合と組合員が災害時の事業の復旧方法をあらかじめ決めておくことが必要であるとして、BCP策定の検討をはじめた。



講習会終了後も多くの質問や討議がされた

二次被害を防ぐことで、組合員各社がかけがえのない人材を守りながら事業や経営をどのように守っていくのかを考える重要なきっかけとなった。組合のBCP基本計画をもとに全組合員や関連団体にも普及を図り、業界全体のBCP普及につなげていきたい。」と語ってくれた。

BCP策定に関するご質問・ご相談は、中央会連携組織課まで。

急斜面での滑落事故防止に向けて 安全教育を実施

●山梨県地質調査事業協同組合

TOPICS

山梨県地質調査事業協同組合(萩原利男理事長 組合員6社)では、社員の作業現場での労災事故防止のための講習会を3回シリーズで開催した。

地質調査業界では、地盤調査のために山間地の急斜面に踏み入らなければならない現場も多いことに加え、奥地の現場で事故が起こった場合に迅速な救急搬送ができないことも考えられる。また、厚生労働省の平成28年1月の労働安全衛生規則の改正により、足場等のない2メートル以上の高さがある現場



建災防山梨県支部の協力による講習

での墜落・滑落事故防止のために、ロープを使った高所作業での安全帯や墜落防止器具の使用と安全教育の実施が義務づけられた。

そこで組合では、地質調査の現場における高所作業の安全確保のために、建設業労働災害防止協会山梨県支部の協力を得て、7月6日「斜面作業の安全」、8月30日「ロープによる高所作業」、9月20日「足場の組み立て作業」の3回にわたって座学と実技を交えた講習会を実施、毎回20名以上の参加があった。

組合の教育委員会委員長の松田丞司理事は、「組合では、県外の大手と対抗するためにこれまで地質調査やボーリング技術の向上に力を入れて取り組んできたが、それに加えて、社員というかけがえのない人材を労災事故から守るために、現場の安全対策を強化して行く必要がある。特に地質調

査では、ボーリング調査に先立って急峻な斜面を踏査しなければならないことも多く、滑落防止のためのロープ高所作業の習得は業界にとって必要不可欠な技術。自然災害を予防しようという地質調査の現場で労災事故を起こしては話にならない。また、労災事故は本人だけでなく家族や会社、さらには発注者まで影響をおよぼしてしまうため、労災予防のために組合の教育研修事業を更に強化していきたい。」と語った。



墜落防止器具を使った
斜面登攀の実技研修

各組合の活動状況について 情報交換会を開催

●一般社団法人山梨県一般廃棄物協会

TOPICS

一般社団法人山梨県一般廃棄物協会(篠原充会長 会員数7組合)は、9月2日クラウンパレス甲府で役員懇談会を開催、会員7組合から理事長をはじめとした20名も参加し、各組合の活動状況等について積極的な情報交換が行われた。

県内では市町村合併にともない、平成15年頃から行政の委託により住民の排出する生活系(家庭系)一般廃棄物などの収集運搬業務の共同受注を行う組合の設立が進んだ。当協会は生活系一般廃棄物の収集運搬業務を行政から委託されている事業者の集まりとして平成21年に法人化され、研修会等の実施により会員事業所の人材育成と業界の地位向上に取り組んできた。

今回の役員懇談会は、これまで会員組合の代表である理事長間に限られていた情報交換を各組合の他の理事等にも広げることで、できるだけ多くの

役員が他の組合の活動状況を知り自組合の活動強化につなげてもらうことを目的に開催した。

意見交換では、「行政や広域処理センターと組合の関わり方」をテーマに、行政や地域住民との信頼関係をいかに構築し、委託された事業の受注継続につなげていくかについて各組合の取り組み状況の報告があった。報告事例の中には、行政を巻き込んだ地域清掃活動や、安全対策講習による事故数0件の達成、防災応援協定の締結など、参考になる数多くの特徴的な取り組みがあった。



ステッカーにする協会ロゴマーク

懇談会終了後には懇親会に場所を移し活発な交流が行われ、



活発な懇親交流会の様子

出席者からは、こうした情報交換会と交流会を参加者の裾野を広げるため引き続き開催して欲しいという要望があげられた。

協会では、一般廃棄物収集運搬業界の地位向上のためのPR事業として、収集運搬車両に貼付する協会ロゴマークのステッカーの作成も計画しており、今後も活発な活動を展開していくこととしている。

“同等一栄”の実現に向けて!

～法令遵守の車検検査～

● 峡北自動車整備協業組合

TOPICS

峡北自動車整備協業組合(末木基治理事長)では、関東運輸局の自動車車検整備指定工場として、組合員から持ちこまれる車両の車検整備を行っている。

自動車整備業界では、一部で不正改造車の黙認や書類の虚偽記載などの違反行為により指定の取消しを受ける整備工場もあり、組合としても車検検査員や車両を持ち込む組合員のモラルの向上とコンプライアンスの徹底が喫緊の課題となっている。



研修会の様子

組合では違

法行為を他山の石とせずに関係者に自覚してもらうための啓発活動に取り組んでおり、組合事務所の目につく場所に指定整備事業を営む者として、「1.法令遵守精神、1.相互チェック体制、1.不正改造車排除、1.不正は”おまんま”の食い上げ」の4つの心構えを掲示するとともに、「同等一栄」の基本方針を示し、組合や組合員が等しく栄えていくための意識づけを図っている。

また、8月26日には組合員や工場の従業員を対象に研修会を開催し、関東運輸局山梨運輸支局から、車検整備の手続きや手順、指定工場で過去にあった違反事例などについて説明がされた。

末木理事長は「違反行為は、一人の、1回の不正でも組織全体の信用を失墜させ、組合の存続にかかわる深刻な事態を招きかねない。組合も今年創立40周年の節目を迎えたが、これからも信用・信頼

される車検指定工場であり続けられるよう、組合組織の理念でもある、一部の組合員だけではなく組合に加入する全ての組合員が等しく繁栄できる組織として“同等一栄”の気持ちを持ち、組合員一丸となって健全な組合事業の継続に努めていきたい。」と話してくれた。

事務所内に掲示し、意識徹底を図っている

同等一栄

峡北自動車整備協業組合は

1. 法令遵守精神
1. 相互チェック体制
1. 不正改造車排除
1. 不正はおまんまの食い上げ

災害時のごみ収集へ、行政と組合が強力な連携

「災害時家庭系一般廃棄物収集運搬協定」を締結

● 大月都留環境事業協同組合

TOPICS

大月都留環境事業協同組合(田中治夫理事長 組合員7社)は、9月7日に大月・都留の両市と大月都留広域事務組合の4者で「災害時における家庭系一般廃棄物の収集運搬に関する協定」を結んだ。

これは、同組合が設立当初から掲げていた行政や住民と一体となって活動していくという想いを実現化したもので、災害時に避難所から出たごみを組



協定調印式の様子

合が回収し、災害発生時の衛生環境の確保と市民の健康維持にもつなげることとしている。

協定の発案者は同組合の田中治夫理事長で、協定の考えは東日本大震災で被災した宮城県石巻市でごみ収集のボランティア活動を行った時にさかのぼる。避難所にあふれるごみを収集しようとした際に、避難所の方から「ごみを収集するのは行政の仕事」との指摘があり、行政から家庭系一般廃棄物の収集運搬業務を委託されている事業者として、災害時におけるごみの収集を円滑に進めなければならない役割を痛感した。その時の経験を踏まえ、平時から避難所のごみの収集方法について市と事業者で決めておく必要があると考え、組合設立間もない本年6月から大月市、都留市と協定締結に向け協議を重ねてきた。これまで組合員7社が行ってきた大月・都留の両市の家庭から出るごみの収集運搬業

務に加えて、災害時に学校や公民館などに設けられる避難所等から出る大量のごみの収集を、組合が責任を

もって遂行する役割も決まった。

今回の調印式で、組合が目標にしてきた行政と組合とが一丸となった取り組みの最初の一步が組合設立まもなく実現した。田中理事長は「災害が起らず出番がないことが一番だが、万が一の場合には速やかに回収できるように、組合員全社が協力と連携をして災害時の収集運搬業務の体制整備を早急に進めていく。」と話した。



協定書を手にする4者(右端 田中治夫理事長)

ベトナムの縫製専門学校が完成

外国人技能実習生共同受入事業の強化を

● 東日本NEXT・SUPPORT協同組合

TOPICS

外国人技能実習生共同受入事業を実施してきた東日本NEXT・SUPPORT協同組合(小田切賢二理事長、横浜国際アパレル協同組合から名称変更)が、かねてから準備を進めてきたベトナムの縫製専門学校が完成した。9月には小田切理事長がベトナムを訪問、本格的な実習が始められるように研修プログラム等の授業内容を決定してきた。

この専門学校は、技能実習生が日本で習得した技術や日本語を母国で生かしながらい人材育成も担うことを目標に設置された。学校では日本で縫製技術を学んだ技能実習生2名を先生に、15名ほどの女生徒に対し9月から実習を始めている。生徒は、縫製の基礎技術や日本語を学んだ上で12月頃に行われる受け入れ予定企業の面接を経て、来年6月に日本に入国する予定。これまでの技能実習生は現地の職業訓練学校で一定の基礎を学んだ上

で来日することが一般的であったが、日本の受入組合が現地に縫製の職業訓練学校を開校し技術と日本語教育まで取り組むのはベトナムでは初めてである。

小田切理事長は、「来日前に現地で日本の縫製技術と日本語を教えることで、企業での技能実習への移行をスムーズに進めることができる。それに加え、人材不足に悩んでいる縫製業界の技術水準の維持と発展に貢献できる。」と語った。

外国人技能実習制度については不適正・違法な受け入れが問題視されており、今後、実習実施機関(受け入れ企業)は届出制、監視団体(受け入れ組合等)は許可制となり、検査や調査を行う外国人技能実習機構の創設もされ、適正な事業実施に向けてのチェックが厳しくなる。また、優良な実習



研修が始まった学校

実施者・監視団体に限定して技能実習期間の延長も可能になる。そこで、組合としても、技能実習生を通じた技能等の移転と経済発展を担う人材育成という制度の趣旨に基づいた国際協力・国際貢献の取り組みを強化していく。

チャレンジ! 6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者(1次産業)が地域の農産物等を活用し、商工業者と連携して加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めることです。このコーナーは、中央会が6次産業化サポートセンターとして支援している事業者の取り組みを紹介します。

甲州天空かぼちゃのブランド化・プレミアム化を目指す

●甲州天空かぼちゃ生産組合 廣瀬 隆 氏



甲州天空かぼちゃ生産組合 廣瀬隆 氏

6次産業化に取り組むことになった経緯は？

山梨県の峡東地域は果樹地帯で、ぶどう棚が見事な景観を形成しています。しかし、高齢化による農業離れが進み、耕作放棄地が増加しています。「ぶどう棚が作り出している景観を守るために、栽培が難しいぶどうではなく他の農産物生産はないか」と考えた結果挑戦したのが、ぶどう棚を活用したかぼちゃ栽培で、「甲州天空かぼちゃ」と名付けました。

天空かぼちゃは、太陽の光を全身に浴びるため、全体が均一な緑色になり均衡がとれた形状で自然な



空に浮かぶ天空かぼちゃ

6次産業化への課題は何でしたか？

平成25年に山梨県の美味しい甲斐開発プロジェクトに採択され、「天空かぼちゃの自然甘味ペースト」の開発を行いました。それまで製品化の経験がなかったため、加工は外部に委託しました。その際、6次産業化への課題として感じたのが、原料の安定的な確保、技術力のある加工会社の選択、販売先の確保でした。

昨年、JR東日本グループの地域再発見プロジェクトの一環として、6次産業化に向けたものづくりの推進と地域における新たな産業の創出となるマーケットの需要拡大を図る「のもの1-2-3」プロジェクトに採用されました。甲州天空かぼちゃを使ったプリン、かき揚げ、ポタージュがJR東日本八王子支社を中心に企画・開発され、グループの各店舗で販売され、好評を博しています。

今後の展開は？

原料の確保に関しては、作付面積の拡大、栽培品

種の拡大の目途がつかしました。販売先も、引き続きJRの協力が得られることとなっており、当面は確保できる見込みが立ちました。今後は、商品の幅を広げるために、新たな商品アイテムが必要であり、商品開発が可能な食品会社との協力関係を築くことが必要と考え、現在、新たな製造委託先との交渉を行っています。

また、甲州天空かぼちゃのブランド力をあげるため、10月23日、24日に甲州市塩山の甘草屋敷などを舞台に、「甲州天空かぼちゃ祭り」を開催します。ぶどう棚を使った夜空に浮かぶハロウィンランタンの幻想的な風景の演出やハロウィンコスプレコンテスト、ランタンづくり体験、屋台村による飲食の提供、かぼちゃの重さ当てゲームなどで盛り上げます。

甲州天空かぼちゃのブランド化・プレミアム化を目指した様々な取り組みにより、ぶどう棚が持つ景観を守り、更に、6次産業化により耕作放棄地の解消、就農者の確保等、地域の活性化につなげていきたいと考えています。今後も地域を巻き込みながらかぼちゃの生産拡大や新商品の開発と販売拡大を進めていきたいと思っています。

やまなしものづくり最前線!

微細加工技術を活かした宝飾品製作における加工技術と新商品の開発

●株式会社オクワキ精密 代表取締役 奥脇 伸自 氏



代表取締役 奥脇伸自 氏

中央会では、平成24年度より国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組む事業者を紹介します。

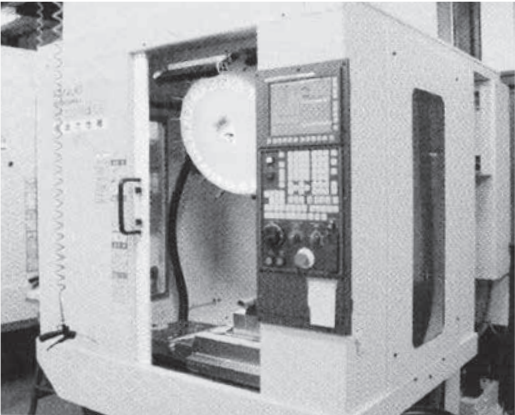
本事業では、これまで医療機器メーカーからの特注試作品加工で培ってきた精密微細加工技術を活用して、既存の宝飾業界には無い新たなデザイン性のある宝飾品を提供することを目指し、微細加工が出来るロボドリル(高速24000回転仕様)を導入し、外周や端面及び複雑な貫通孔(0.3mm幅)の微細加工といった今までの宝飾加工技術ではなし得なかった高感性化に対応した指輪・ペンダント・スタッドピンなど6パターンの宝飾品の試作品を完成することができました。

今回の事業実施において、高速仕様ロボドリルと角度・回転方向の割り出しによる加工が出来る傾斜NC円テーブルを組み合わせた微細加工を十二分に発揮させるためのデザインを決定、自社の加工技術のノウハウを生かし、異種貴金属(白金と金など)の寄せ木細工のような多彩形状での連結、側面や外周の微細加工による貫通孔及び彫り込みなどに取り組み、6パターンの新たなデザインと技術の融合に成功した。

また、本事業で導入したデザイン加工用ソフトウェアで既存の3D-CAD・CAMシステムを多様なデザイン加工にも対応可能に改修した。

事業実施の成果として、従来の指輪等の宝飾加工では、加工の特性上異なる貴金属を組み合わせた構造や貫通孔を持つ構造を実現することは難しかったが、宝飾業界では使われていない精密加工機械や加工技術を使うことで、これまでに無い新たなデザイン性のある宝飾品を提供することが可能となった。

奥脇代表取締役は、「今回の事業で、従来の加工技術を用いて新たな分野での試作開発を実現し、従来の宝飾には無い新しいデザインと美しさを持ったアクセサリを世に問うことができた。個々の製品は、仕上がったと同時に様々な主張を始め、可能性を持つ。『この美しさを誰にアピールするのか』といういろいろな顧客の顔が浮かび、販路と出会いを求めて新しい路線へと踏み出す時が来た。」と今後の抱負を語ってくれた。



微細加工が出来るロボドリル(高速24000回転仕様)



試作品の一部

●山梨県中小企業団体青年中央会

～青年部活動に役立つ情報交換を～ 青年部代表者会議を開催

山梨県中小企業団体青年中央会(須田猛会長 会員数24青年部)は9月9日に青年部の活性化や青年部会員の企業に役立つ情報交換と青年部間のネットワークの強化の場として代表者会議を開催した。

会議には、13青年部から17名が参加し、各青年部から活動状況が報告された。報告では、講習会や視察研修などの教育研修を実施している青年部が多いが、業界のアピールや認知度アップのためにボランティア活動や地域イベントへの参加などを行っている青年部も多く、様々な活動により会員相互の交流が行われ、組織や事業の活性化につながっていることであった。

また今回の代表者会議では、各青年部の業界で話題となっている情報提供も行われた。

電気工事業界からは、健康及び環境の保護の面で、水銀を一定量以上含有する製品(電池や蛍光灯)の製造が2020年に禁止されることから、早めの代替品(LED照明)への対応が必要との説明があった。

食品製造業界からは、製品への異物混入が相次いで報道されることから「食の安全」のために徹底した製造ラインの見直しや監視カメラによる管理など安心・安全の製品づくりに努めていると説明があった。

自動車業界からは自動車のナンバープレートへの被覆や折り返し等が禁止される新基準が4月より適用されていることが知られておらず、今後は取り締まりや整備不良の対象になる等の情報提供があった。各業種からの経営に影響のある身近な情報提供が続き、会議は活発な質問や意見交換が行われ充実したものとなった。

須田会長は、「青年中央会の事業を、参加することに価値のあるものにしていくほか、参加が少ない青年部や、非会員の青年部に対しても興味を引く事業を行い参加につなげたい。」と述べた。

10月18日に行う青年部県大会及び11月に神奈川県において開催される組合青年部全国講習会について各青年部に積極的な参加を依頼し、閉会した。



会議の様子

山梨と静岡の両県中央会の 事業連携に向けて

静岡県中央会と実務担当者連絡会議を開催



山梨県中央会と静岡県中央会は、9月14日(水)に静岡市の「クーポール会館」で、事務局レベルによる実務担当者連絡会議を開催し、両県中央会事務局による情報交換と連携事業の検討を行った。

両県中央会は、昨年9月25日に、災害等緊急事態の発生に備えて両県の中小企業の事業継続のための経営支援を行う「緊急応援協定」の調印式(ベルクラシック甲府にて)を行った。その際に、中部横断道開通が新東名と繋がることにより、両県の経済交流を近い将来より活発化することを想定し、平常時においても両県の中小企業組合及び組合員企業の事業連携を積極的に進めることとした。

こうしたことを受けて、今回の実務担当者連絡会議では、①緊急協定の推進とトップ会談の実施 ②組織化推進と青年部や事務局長会相互交流 ③食産協・6次産業化・地域資源開発の進め方 ④ものづくり支援 ⑤共済・受託事業のあり方 ⑥人材確保と労働関連事業の連携 を切り口に6つワークグループごとにそれぞれ事業実施にあたっての課題抽出や連携の可能性を協議した。

連携の可能性のある事項として、組合や青年部・組合事務局の相互視察交流、組合等を主体とする食品関係イベントでの相互出展、ものづくり成果発表会への参加、両県によるUIターン合同企業説明会などが挙げられた。

また、緊急時支援の連携を深めていくために、両県の各業界組合や団体ごとの取り組みを中央会が核となって進めていくこととした。あわせて、今後の連携強化を確認する両県正副会長による「トップ会談」も、平成29年2月に開催する(以降幹事県持ち回り)方向で調整することとなった。

両県による実務担当者連絡会議は、今後も継続的に開催していく。

情報BOX

弁理士知財キャラバン

技術力・デザイン力を活かして新製品を開発したい！
会社や製品の知名度を上げたい！海外に進出したい！

・・・こんな要望はありませんか？

知財経営コンサルティングスキルを持った弁理士が貴社へお伺いいたします！
訪問は最大3回です。貴社の業績アップのため、お気軽にご相談ください。

訪問をご希望の方は こちらまでご連絡ください！



日本弁理士会

日本弁理士会 弁理士知財キャラバン担当

0120-19-2723

FAX 03-3519-2706 受付時間：平日9～17時
e-mail:caravan@jpaa.or.jp

www.jpaa.or.jp/?p=27541

知財キャラバン 検索

費用は無料！
※日本弁理士会が
負担します。

ホームページ
からもお申し込み
ができます。



「経営者のための 事業承継セミナー」のご案内

知っておきたい
経営者交代時に活用できる支援施策

日 時 10月25日(火)
14時～17時(受付:13時30分～)

場 所 恩賜林記念館
(甲府市丸の内1-5-4 舞鶴城公園内)

講 師 関口 正二 氏(税理士)

内 容 [第1部] 経営者交代時に活用できる支援施策
[第2部] 事業引継ぎ支援センターの取り組み

申込方法 HP▶ <https://28jss.smrj.go.jp/>

主 催 (独)中小企業基盤整備機構

インターンシップ体験記

中央会では、学生の就業意識を向上させることが将来的な県内経済の発展に寄与するとの考えから、毎年8月に大学生のインターンシップを受け入れています。その学生のレポートです。

訪問企業 ▶ 山梨県自動車整備商工組合

●山梨大学 生命環境学部 地域社会システム学科 2年 丸山 梨花菜

組合の山下理事からお話を伺った後、実際に自動車の適正点検や整備を行っている様子を見学しました。

自動車整備士の方々が自動車の安全・安心を守るために働くということは、私たちの命を守ることにつながり社会の安全を守ることにもつながっていることを実感しました。また、自動車整備士の資格を取るための充実した施設やPRイベントの開催など、自動車に興味のない人にとっても身近に感じられる活動を行っているとのことでした。現状に満足せず新しいことに挑戦していこうとする行動力が大切であるということに改めて感じました。

今までは車検という言葉でしか知らなかった業界ですが、新しい側面を見ることができ、様々なことを学ぶことができました。

訪問企業 ▶ 飯田鉄工 株式会社

●山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 3年 藤本 沙来

水門・橋梁等の設計・製作・施工を行っている飯田鉄工(株)では、「自分のつくったものが形に残ることにやりがいを感じる」と話していただき、技術者の仕事に向かう熱心な姿勢を見て「後世に残るものづくり」を仕事にすることへの魅力を感じました。また、製造現場を見学し、仕事を行う際のチームワークと一人一人の責任感の重要性を学びました。

普段携わることのできない様々な業界の組合や企業の方々の貴重なお話を伺えたことで、大学の勉強だけではなく、多くの分野に好奇心を持つことが新たな興味を生み、よりよい進路を決定することにつながると感じました。これから視野を広く持ち、自ら積極的に情報を得ることで、自身の納得のいく就職活動を行っていきたいと考えます。

訪問企業 ▶ 株式会社 印傳屋 上原勇七

●山梨英和大学 人間文化学部 人間文化学科 3年 尾上 勝紀

上原重樹社長にお話をさせていただき、鹿革に漆付けする独自の技法を守るために、漆付けした鹿革だけを提供するのではなく製品化まで行っていること、また、社長自らが現場の声を聞き、職人がより良いものを作り続けられるように心がけていることが印象に残りました。

工場は一般開放しており、自社の製品がどのように作られているのかを見学してもらい、安心して買ってもらえるように配慮していました。また、直営店ではお客様の意見を聞くことで、人と人との関わりを大切にしている姿勢が感じ取れました。

インターンシップでは、仕事に対して様々なことを学ぶ貴重な経験になりました。今回感じた仕事に対する熱意、コミュニケーションの大切さを心がけ、これからの就職活動に活かしていきたいと思います。

訪問企業 ▶ 風土記の丘農産物直売所(一般社団法人中道農産物加工直売組合)

●山梨英和大学 人間文化学部 人間文化学科 3年 望月 史織

風土記の丘農産物直売所では、様々な農産物が売られており、甲府市中道地区でたくさんの農産物が作られていることに驚きました。

また、特産品を利用した加工品なども、「限定」という購買意欲を高める言葉を用いた販売戦略をとっているところから、多くの人にも買ってもらうための工夫がされていると感じました。

他ではやっていない取り組みが、そこにしかない、代わりの効かない、唯一無二の存在になるのだと思いました。

様々な企業を訪問しお話を伺うことができ大変貴重な経験になりました。今回学んだことをこれからの学生生活や就職活動に活かしていきたいと思います。



左から、望月さん・尾上さん・藤本さん



丸山さん

Come on! Truck Driver!

これからは、トラボーイ、トラガール

トラックドライバーの仕事って何?荷物を運ぶ仕事?いえ、トラックドライバーの「仕事」は「運ぶ仕事」ではなく「届ける仕事」です。ご存知でしょうか、国内物流の約9割を担っているのはトラックであることを。「今日出した荷物が明日には届く」そんな「当たり前」の陰にはトラックドライバーがいることを。荷物を待つ人のもとへトラックドライバーは預かった荷物とともに「生活・経済」を後ろに載せて、より確実に、環境に配慮しながら、今日も走り続けています。トラックの魅力を教えてほしい?それは乗ってみればわかります。人の想いを届けてみればわかります。

さあ未来へと走ってみよう、トラボーイ、トラガールとして。

平成27年度環境標語最優秀作品

トラックが僕らの未来を守ります

暮らしと荷物と環境を

(一社)山梨県トラック協会・(公社)全日本トラック協会

Yamanashi Chuo Bank 山梨中銀 <http://www.yamanashibank.co.jp/>

地域活力強化ファンド

地域ブランド産業
医療・介護ビジネス
環境配慮
観光ビジネス
事業承継・M&A
モノづくり
農業
etc...

地域活力強化ファンド
幅広い資金ニーズにご利用いただけます。

山梨中央銀行は、地域ブランド産業や成長分野ビジネスに関する取り組みを応援いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

取扱期間 平成29年3月31日(金)まで

※ 審査の結果、ご希望にそえない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

※ 取扱期間中でも、総額が800億円に達した場合は、お取り扱いを中止させていただく場合がございます。

◎ くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。

☎ 0120-201862(照会コード:9) 受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(ただし、曜日・12/31～1/3は除きます。)

編集後記

今年は台風が猛威を振るいました。休みとなると雨続きで、出かけようと思えば愛車のバッテリーがあがり、ETCが故障…。行楽・観光シーズンの秋となりました。日常点検や洗車などクルマのケアをしておきましょう。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216
E-mail :
webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp